

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 48 2016.5.15

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

「学べる博物館」探検隊リレー講座 ②

石峰&抱月のふるさと「地域まるごと博物館」の地域を歩き、体験学習をする「探検隊リレー講座」第2弾浜田市指定史跡「波佐一本松城」を歩きます。

【第2回講座】

「波佐一本松城」を観て歩く

日 時 平成28年6月4日(土) 午前9時～正午

集合場所 浜田市金城町波佐 ときわ会館

参加料 500円(資料代など)

主催者 地域研究センター協議会

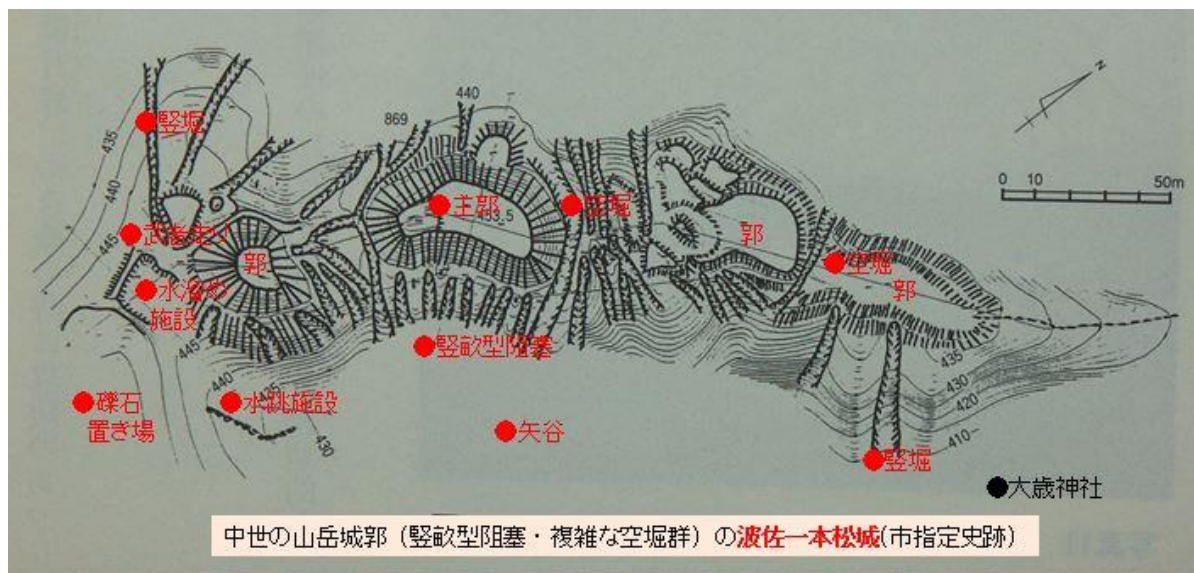
お問合せ 携帯電話 090-4697-2818(事務局)

【波佐一本松城】

鎌倉時代から戦国時代までの中世の山城で、主郭(南北300m)を中心とした4つの郭、腰郭、縦畝状空堀群、堀切、切通し、軍用水路跡、石垣があり、防御を主にした守りの城郭。南北1km、東西400mの山城は弓矢の時代から鉄砲の時代まで使用されたため、空堀も工夫が施されている。波佐地区は、黒金(たたら鉄)の産地であったことから吉川元春夫人の御料所でもあった。周辺遺跡から12～15世紀の中国産の青磁が出土している。この城郭の特徴は、陰陽道の鬼門除けの為に東北の方向に大歳神社を構築し、南の方向に虎口(入口)を設けている。また礫石置き場、水攻め施設など山城研究には最適な城郭である。城山の西側には、南北朝時代の「波佐谷の合戦」時の戦死者を葬った千人塚、剣の墓が現存している。城郭研究者は必見の城郭である。



礫石置き場付近の大堀切



中世の山岳城郭(縦畝型阻塞・複雑な空堀群)の波佐一本松城(市指定史跡)